

9泊10日のオーストラリア研修では、オーストラリアの文化に加え、授業を通し、様々なことを学ぶことができました。

文化面では主に2つのことに気が付きました。

1つ目は、自分の時間と仕事を明確に分け、両立させているということです。朝早くお店が開店し、3時、遅くても4時には閉まってしまうお店も多くありました。平日でも午後には海沿いを走っている人も多くいたり、海ではサーフィンをしている人が多くいたりしました。このように、朝早くから活動し、午後には仕事を終わらせ、家庭の時間や、自分の時間を大切にするライフスタイルを感じることができました。

2つ目は、自然とともに生活しているということです。オーストラリア、特にゴールドコーストは、海に囲まれており、マリンスポーツを楽しむ人が多くいました。また、NGOのボランティア活動をした時には、海の希少な生物を見つけて、観察し、元の場所に戻してあげるということを楽しんでいる様子を見ることができました。加えて、ランニングをする人やウォーキングをする人が多くいました。このように、人工的なものではなく、自然を生かした遊びや生活を行っており、自然とともに生きているのだと感じることができました。

以上2点のように、日本ではあまり感じることをできないような体験や発見をすることができ、日本に帰ってきてからも自らの生活に取り込むことができることは行っていきたいと考えます。例えば、東京では感じることに難しい自然については、季節に合わせて花見をするや、夏には海や山で遊んでみるなど、四季を感じながら生活することを心掛けることができます。これにより、自然に対する思いやりや、取り組みをより主体的、積極的に行うことができると思います。また、ワークライフバランスについては、仕事に左右されるような働き方ではなく、自分で働き方を決めることができるような仕事に就きたいと考えるようになりました。もちろん、仕事の習得期においては仕事に重点を置き、自らの成長に力を入れていきたいと思いますが、ある程度仕事が身についたら、自分のライフスタイルに仕事を組み込むことができるようにしていきたいです。

授業の違いについては相互対話式でディスカッションの多い形態でした。これは少人数の授業だったからもあるかもしれないのですが、生徒側も意見がしっかりと見える人が多いことがそれを可能にしたのではないかと考えます。

休日には保護地区に行き、野生のカンガルーやコアラを見て、このような公園感覚で行くことができる保護地区があるからこそ、自然や動物を守るためにも持続可能な開発をしなければならないと考えられているのだと感じました。

このように生活を通して研修活動を通して感じることを考えることが多く、この学びをこれからの学び、生活に活かしていきたいと考えます。今回は2週間の学びの多い研修の機会をいただきありがとうございました。2週間でしたが、これからの大学生活で経済・経営についての知識や語学力を身に付け、日本語でも英語でも自分の意見が言えるようになりたいと思いました。

